



羽村市立栄小学校
学校だよりNO. 3
令和6年5月31日

体験 → 経験として生かす

校長 棗 まゆみ

栄小学校では、5月から6月にかけて、子供たちが体験を通して学ぶ機会をたくさん設定しています。

<5月>

- 10日(金) オーケストラ鑑賞教室
(3年生、5年生)
- 15日(水) 交通安全教室
- 18日(土) 一斉下校訓練
- 24日(金) 生活科校外学習
(1年生、2年生)
- 27日(月) 遠足(3年生)
→雨の予報のため6月17日に延期
- 28日(火)～30日(木)
日光移動教室(6年生)
- 31日(金) インターネット・携帯電話犯罪防止教室

<6月>

- 4日(火) なかよし班花植え
- 8日(土) 稲作体験(5年生)
- 13日(木) 社会科見学(4年生)
- 14日(金) 引き取り訓練
- 17日(月) 水泳指導開始
- 20日(木) 不審者対応訓練
- 25日(火)～26日(水)
二中校区あいさつ運動
- 28日(金)～29日(土)
清里移動教室(5年生)

学校にある小学生用の国語辞典で「体験」「経験」を調べてみたところ、以下のように記されていました。

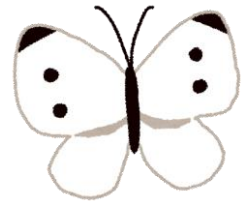
★体験…自分で実際にやってみること。または、やってみて自分の身に付いたもの。

★経験…実際に自分で見たり聞いたり、やったりすること。また、それから得た知識や技能。

子供たちにも、全校朝会で国語辞典を使って「体験」と「経験」の言葉の意味を紹介し、「体験したことを、経験として生かして行ってほしい」という話をしました。

子供たちにとって本物に触れる「体験」は、何物にも代え難い学びとなります。

先日、3年生が育てていたモンシロチョウの幼虫が蛹から羽化しました。そして、その瞬間を子供たちが見ることができま



した。また、職員室でもアゲハチョウの蛹が羽化をし、ちょうどその瞬間を数名の職員でみることができました。大人でも本物のチョウの羽化の瞬間を見たことがある人は多くはないと思います。「映像」ではなく、貴重な「本物」の瞬間を目の当たりにし、私は、命の力強さ、生命の神秘さ、本物がもつエネルギーを強く感じました。子供たちにとって、羽化を見ることができたことは、とてもよい「体験」になったと思います。そしてその「体験」は、思い出や忘れられない知識となり、子供たちの「経験」になるのだらうと思いました。

「体験」や「経験」は、良い思いをするものばかりではなく、苦い思いをするものもあります。同じ体験をしても、感じ方や学びは、人それぞれです。自分が「体験」したことについて、視点をかえ多面的・多角的にみたり、柔軟に考えたりすることによって、「経験」として今後に生かすことができるのではないかと考えています。

栄小学校の子供たちが様々な「経験」を積み重ね、自身の力として生かしていけるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。今後も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。